

今宮の記憶

美術、工芸科 森本 晶子

社会人になってから「最近の若者は…」などというセリフをよく目や耳にし、私たちの時代とはまた変わってしまっているのだと意識して、久しぶりに今宮に戻ってきたら、最初思いだすまで、空気に慣れるまで時間はかかったが（何せ今宮を卒業してから随分と経つ）、私たちのころからあまり変わっていないことに気が付いた。

変わっていると感じたところは、流行しているものや勉強熱心な生徒が増えていることくらいで（私たちのころは校内で残って勉強している生徒などいなかった）、生徒一人一人の雰囲気というか人間性というか、生徒が意識しているかどうかとも分からないし、生徒自身それを言われると不本意だと思うのかもしれないが、今宮の生徒という感じがした。

少なくとも私が知っている今宮の空気とは変わっていなかった。総合学科に変わってからもう大分経ったはずだが、今宮の生徒は個性が溢れていて、明るく元気な生徒が多い素晴らしい学校に変わりはないのだと改めて感じた。これからもきっと、変わらず“今宮”であり続けるのだろうな。